

特集

看護過程再考 基礎教育に
おける「思考ツール」の役割

基礎教育で「看護過程」を教える意義と現状の課題

古橋洋子

今にして看護過程を見定める 小玉香津子

「思考ツール」ではとらえられないもの

実習という「経験の学び」を探る 前川幸子

臨床判断モデルの概要と重要性

松谷美和子／三浦友理子／奥裕美

臨床判断モデルを用いた教育実践について 嘉吉絃子

【焦点】

第104回看護師国家試験 解説 上間ゆき子／畑尾正彦

【新連載】

学びのヒントをもつ私 学生は「経験」の宝庫・1 文倉志信

【連載】

- アジア、アフリカ、ラテンアメリカの看護教育はいま・4 緒方愛
- 授業研究で変わる！授業研究で変える！・7 吉崎静夫／蔵谷範子
- 宮子あずさのエキサイティング Writing・7 宮子あずさ
- 卒業前の看護実践能力育成への取り組み 愛知県立大学看護学部
「看護の統合と実践」検討プロジェクト・11 柳澤理子
- “医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング・15
斉藤奈緒美／石川雅彦

編集後記

●自分が受けた授業を振り返ってみました。正直「おもしろい」ものはいませんでした。そこで代わりに、とても印象に残っている先生の話をします。●中2の担任は小柄な“おばちゃん”で、いつも竹の棒を持っていました。生徒がいい加減な答えをしたときや、教室内が騒がしくなったとき、その棒が教壇に叩きつけられ、われわれは飛び上がりました。が、注目点を伝えるときや、よい答え、質問をしたときなどは、その棒は教壇上でトントンと可愛い音を立て、さながら拍手のように聞こえたりもしました。そんなときは、われわれもほっこりしたものです。●昔ながらの一方的な講義でしたが、その棒のおかげか、「つまらない」という印象はありません。思い返すと、そこには緊張と緩和があったからだと思います。ただそれだけでも、「つまらない」からは脱却できるのです。……大野

●車の免許を更新しました。それにしても自動車教習所の「講習」ってつまらないですね。思い返しても、免許取得時の「学科」は、ほぼ催眠術の現場でした。それで仮免許を取って道に出ると「教官様助けて！」となっていたので、いい気なものといえそうですが、それでもあの「つまらなさ」は一級品だと思います。どうしてでしょう。もしかすると必要なことを必要だから教えている環境は、「つまらない」授業を生み出す大きな要因の1つ、つまり「必要は退屈な授業の母」かもしれません。もちろん、看護という新しい技術を習得するのに、好奇心で3(4)年間ずっと目がキラキラ、というわけにはいかないでしょう。暗記や反復練習は退屈なものです。でも、それを乗り切る力もまた、必要という気持ちです。学生が「必要を知的好奇心の母」とするのは、きっと先生の「おもしろい」授業だとします。……番匠

◎編集室ツイッター
http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第56巻 第6号 2015年6月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2015年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、冊子＋電子版／共有20,880円、電子版／個人15,540円、電子版／共有17,880円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/15/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,500 円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.56 No.5

2015 年 5 月
特集

「やってくる」事前課題をつくらう！

従来型の授業では、教員が講義を行い、問題を課し、それを学生が解き知識を身につける、という形式でした。比較的「復習」が大事にされてきたと思われます。しかし、アクティブラーニングや反転授業の取り入れが進められるいま、学生には講義以前に自主的に知識を得、それを学生間で共有しながらお互いに学び合うということも求められています。比較的「予習」が重視されているということです。そこで大事なのが「事前課題」です。

講義で何を学んでほしいか、そのために事前にどんな知識や発想を身につけてほしいかを考えて、事前課題はつくられます。ですので、教員は準備段階から非常にエネルギーを割く必要があります。しかも、ただ課題を出したからといって、学生がやってこなければせっかくの授業研究も水の泡。事前課題づくりは、今までの授業計画以上に大変なこともありません。

今回は、事前課題の意義をふまえたうえで、授業、講義にはどのような事前課題が必要か、そして学生が「やってくる」事前課題にするにはどのような工夫が必要かを考えます。充実した授業には充実した事前課題が不可欠。皆さんが、少しでも「おもしろい」事前課題がつくれるようになれば幸いです。

■「教わる」から「学ぶ」へのパラダイム変換の時代に、事前課題の重要性を再考する……齊藤茂子

■「事前課題」の意味を教えることから始めよう……坂梨京子

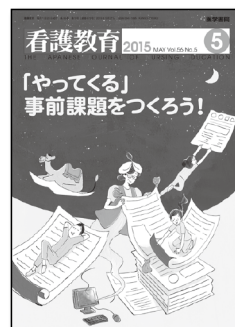
■私たちは事前課題にこう取り組んでいる①——「看護過程の展開」に活かす——成人看護方法論1の演習での活用……真鍋知子

■私たちは事前課題にこう取り組んでいる②——1年生後期の胸部フィジカルアセスメントに向けて……土澤り

■私たちは事前課題にこう取り組んでいる③——基礎看護技術の「身体の清潔を整える援助」での活用……瀬戸かおり／鮫島陽子

■TBL（チーム基盤型学習）における事前課題の位置づけと効果——TBLを実践した経験と学生の感想から……新福洋子

■反転授業における授業設計と事前課題……稲垣忠



Vol.56 No.4

2015 年 4 月
特集

本当に伸ばすための コミュニケーション教育

「コミュニケーション能力」。企業でも病院でも学校でも、人と人が触れ合う場面ではどこでも、現代の日本社会で声高に重要視されている能力です。特に、人と向き合う職業とされる看護師の養成課程では、学生の「コミュニケーション能力」の向上は必須の課題であるといえます。また同時に、最近の若者のコミュニケーション能力が低下している、という声もあります。しかし、「コミュニケーション能力」は、非常に曖昧で、個人の性格に帰するところも大きい、とらえどころのないものです。定義や目標も曖昧なままでは、それを向上させようとする教育も、漠然としてしまうでしょう。コミュニケーション能力を「本当に伸ばす」ためには、どのような教育がありうるのでしょうか。今特集では、そのために必要な理論づけと、実践的なプロの技術を紹介します。

■教育機関として、コミュニケーション能力向上のためにできること……村中陽子

■コミュニケーション能力を伸ばす授業の組み立て……寺岡三左子

■看護コミュニケーションを学問として教授するスキル……篠崎恵美子／藤井徹也

■身体アウェアネスを育てる——身体関係論から見えてくること……山地弘起

■コミュニケーション能力向上のプロが語るコミュニケーション教育……平美和



【2015年3月号(Vol.56 No.3)】

コースポートフォリオで
授業改善！

【2014年12月号(Vol.55 No.12)】

理想的な「入学前学習」を
求めて

【2015年2月号(Vol.56 No.2)】

IPE の達成とこれから
「地域で学ぶ」を中心に

【2014年11月号(Vol.55 No.11)】

基礎と臨床がともに学ぶ場を
つくる
自治体が協力するケースを中心に

【2015年1月号(Vol.56 No.1)】

看護教員の教育力を UP する！

【2014年10月号(Vol.55 No.10)】

論文執筆のススメ
実例から学ぶ良い論文の書き方

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2013 年 4 月号(Vol. 54, No. 4)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-3985-4701, FAX 03-3985-4703, <http://www.taobook.com/>)
- 2013 年 5 月号(Vol. 54, No. 5)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお願いします。